

令和8年8月5日

福島ビエンナーレ2026 ∞ 芸術祭

福島大学芸術による地域創造研究所主催で、産学官民の連携によって平成16年から開催されてきた企画「福島ビエンナーレ」が、令和8年8月に双葉郡で初めて開催されます。ビエンナーレ（Biennale）とは、イタリア語で「2年に一度」を意味し、現代美術の分野では、2年おきに開催される大規模な展覧会を指します。

今年は東日本大震災15年を経た双葉郡で、地域の文化資源を活用し、多種多様なアートの展覧会や公演、シンポジウム、ワークショップを開催します。

8月23日(日)～9月26日(土)

東日本大震災・原子力災害伝承館／FUTATABI FUTABA FUKUSHIMA／フタバスーパーゼロミル／双葉町コミュニティセンター／震災遺構浪江町立請戸小学校／とみおかワイナリー／コミュニティハウスにじいろ
地域文化伝承教室(川内村)／檜葉町コミュニティセンター／姥獄蛇王神社(広野町)他

8月1日(日)～9月26日(土) とみおかアーカイブ・ミュージアム

9月1日(火)～9月26日(土) かとう草野心平記念館

◆ワークショップ

8月18日(火) 「国の天然記念物 モリアオガエル のキャラクターWS」伊藤有香
川内村 コミュニティハウス にじいろ(地域文化伝承教室)

8月20日(木) 「にじいろガラスペインティング WS」北村はるか
川内村 コミュニティハウス にじいろ(地域文化伝承教室)

8月22日(土) 「富岡の葛から織物を作ろう」佐藤陽香、松井佐織
とみおかアーカイブ・ミュージアム(富岡町)

◆上映会&アーティストトーク

8月30日(日) 伊藤有香(東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻)
フタバスーパーゼロミル

◆アーティストトーク

8月22日(土) 東日本大震災・原子力災害伝承館(双葉町)

8月23日(日) とみおかアーカイブ・ミュージアム(富岡町)

8月30日(日) 箭内道彦 東日本大震災・原子力災害伝承館(双葉町)

(お問い合わせ先)

人間発達文化学類・教授 渡邊 晃一
福島大学芸術による地域創造研究所 所長
電話：024-548-8226
メール：koichi.w@educ.fukushima-u.ac.jp

東日本大震災15年復興祈念・現代アートの祭典

since 2004 FUKUSHIMA BIENNALE 2026
12 福島ビエンナーレ

2026

8.23 sun - 9.26 sat

- ◎ 双葉町コミュニティーセンター
- ◎ 双葉町役場
- ◎ FUTAHOME
- ◎ 高崎邸 (Futaba AIR)
- ◎ フタバスーパーゼロミル
- ◎ FUTATABI FUTABA FUKUSHIMA
- ◎ 八幡神社
- ◎ 双葉町産業交流センター
- ◎ 東日本大震災・原子力災害伝承館
- ◎ 福島県復興祈念公園 国営追悼・祈念施設



公式HP

会場により開館日時が異なります。イベント・催しの日時等が変更となる場合もありますので、公式ホームページでご確認ください。



双葉芸術祭

Futaba Arts Festival



〔主催〕 ∞芸術祭実行委員会

〔共催〕 公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構 (東日本大震災・原子力災害伝承館)

〔助成〕 令和8年度 福島県地域創生総合事業、双葉町賑わい創出イベント事業補助金

〔後援〕 福島県、福島県教育委員会、福島民報社、福島民友新聞社、朝日新聞福島総局、毎日新聞福島総局、読売新聞福島総局、河北新報社、NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM、福島コミュニティ放送FMボコ

イメージ: 渡邊晃一、清戸迫横穴壁画 / 題字: 千葉清藍

E-mail: futaba2026art@gmail.com

<https://wa-art.com/bien/bien2026/futaba-arts/>



Futaba Arts Festival

会期：2026年8月23日(日)～9月26日(土)

3.11東日本大震災、東京電力福島第一原子力発電所事故から15年を迎える2026年、双葉町ではじめて「福島ビエンナーレ」を開催します。「ビエンナーレ」は隔年で開催される現代アートの祭典です。福島大学芸術による地域創造研究所が2004年から福島県内（福島市、須賀川市、湯川村、喜多方市、二本松市、白河市など）で開催してきました。

福島県、双葉町には《清戸迫横穴》のように、長い歴史に培われた文化資源があります。それらを未来へ継承するとともに、多種多様な現代アート（絵画、彫刻、現代美術、書、詩、舞踊、演劇、アニメーション、映像作品）を通して、震災で失われた多くの命への追悼と復興への祈り、さらには人々と自然がつながる「生命の循環」を未来へと継承していくことを本企画は目指しています。

テーマである「∞(インフィニティ)」には次の三つの意味が込められています。

- ① 無限大記号として、特定の枠に収束しない意味と「永遠の愛」や「絆」
- ② 「双葉（ふたば）」の芽吹き姿から地域の再生と未来への希望
- ③ 双葉町にある《清戸迫横穴》に描かれた渦巻・らせん文様から「生命の循環」

《清戸迫横穴》(国指定史跡)の彩色壁画に描かれた◎は、〈輪廻転生〉と自然・動物との〈共生〉、家族(DNA)に受け継がれてきた〈生命〉のつながりを想起させます。本企画ではそれらの象徴的な意味を「∞(インフィニティ)」に重ね合わせ、未来の希望を託しました。

8月22日(土) 17:00～ 東日本大震災・原子力災害伝承館

■ レセプション

出展作家によるアーティストトーク

双葉の校歌斉唱(齋藤のどか、菅原紗那/福島大学芸術表現コース)

8月23日(日) 10:00～ 東日本大震災・原子力災害伝承館

■ 特別フィールドワーク

「伝承館語り部(高倉伊助さん)と巡る∞」

8月30日(日) 13:00～ フタバスーパーゼロミル

■ アニメーション上映会

伊藤有彦(東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻)

8月30日(日) 17:00～ 東日本大震災・原子力災害伝承館

■ 講演会 箭内道彦

9月5日(土) 10:00～

FUTATABI FUTABA FUKUSHIMA

■ シンポジウム

「アート&サイエンス 悠久の大地と海」

第一部 講演「福島から未来を語る」

伊藤美生(青山学院横浜英和高等学校)

塩澤紘明(福島大学大学院)

第二部 シンポジウム「生命と地球の∞」

[コーディネータ]

渡邊晃一(福島大学 芸術による地域創造研究所)

[パネリスト]

佐藤たまき(神奈川大学 理学部理学科)

鈴木直(フタバスズキリュウの発見者)

佐々木猛智(東京大学 総合研究博物館)

鈴木道生(東京大学大学院 農学生命科学研究科)

豊福高志(国立研究開発法人海洋研究開発機構)

※イベントの日時や場所は、主催者の都合により予告なく変更になる場合がございます。
最新情報を公式ホームページでご確認の上ご来場ください。

Artist

吾子可苗、荒井経、伊藤有彦、井波純、岩根愛、大竹京、北村はるか、木下史青、栗原亜也子、
鴻崎正武、小松美羽、柴川敏之、柴崎恭秀、鈴木美樹、田口苑果、千葉清藍、長澤伸穂、永幡幸司、
平川恒太(Futaba AIR)、箭内道彦、吉田茉莉子、和合亮一、渡辺晃一、
アントニー・ゴームリー、カザリス・アラン、シャズリンダ・サイラ、ドミニク・アリアディエール、
ヒュッメリッヒ・マライケ・ゾエ、ブリジット・カーナルグエン、ブレント・ウィルソン、
フローネ・アヤ・カザリス、ハイデン・センター、ミュリエル・リガール、Md,タリカット、王尽遙、
福島大学学生・大学院生、福島大学球体関節人形サークル、福島大学美術研究会、
鯉アートのぼりプロジェクト(奈良美智、ヤノベケンジ、五味太郎、他アーティスト作品)

東日本大震災15年復興祈念・現代アートの祭典

「 Cinematic ∞ Art 」

12th
since 2004

福島ビエンナーレ FUKUSHIMA BIENNALE 2026

2026 8.23^{SUN} - 9.26^{SAT}

双葉郡 8町村

浪江町、双葉町、大熊町、富岡町、楡葉町、広野町、葛尾村、川内村

〔主催〕 福島現代美術ビエンナーレ実行委員会、国立大学法人福島大学芸術による地域創造研究所

〔共催〕 ∞芸術祭実行委員会、
公益財団法人 福島イノベーション・コースト構想推進機構（東日本大震災・原子力災害伝承館）、
とみおかアーカイブ・ミュージアム（富岡町教育委員会）、コミュニティハウスにじいろ（地域文化伝承教室）、
楡葉町コミュニティセンター（大地とまちのタイムライン）、福島こどものみらい映画祭実行委員会

〔助成〕 ハマコネ（HAMA CONNECTED）

令和8年度映像・芸術文化を通じた関係人口創出事業「Cinematic ∞ Art」8町村の映像制作、ワークショップ、回遊施策等

〔後援〕 福島県、福島県教育委員会、福島民報社、福島民友新聞社、朝日新聞福島総局、毎日新聞福島総局、読売新聞福島総局、河北新報社、
NHK福島放送局、福島テレビ、福島中央テレビ、福島放送、テレビユー福島、ラジオ福島、ふくしまFM、福島コミュニティ放送FMボコ



公式HP

会場により開館日時が異なります。イベント・催しの日時等が変更となる場合がありますので、公式ホームページでご確認ください。

FUKUSHIMA BIENNALE 2026

福島ビエンナーレ

「福島ビエンナーレ」は2004年から「ビエンナーレ（隔年）」で開催されてきた現代アートの企画です。福島大学が地域住民との協働により、これまで県北（県文化センター、福島市、二本松市）、県中（福島空港、須賀川市）、会津（湯川村、喜多方市）、相双地区（南相馬市）、県南地区（白河市）で展開されてきました。2011年以降は、福島県の伝統文化と結びつける内容となり、人々が幅広く芸術文化に触れ合い、交流する場となりました。今回初めて双葉郡で開催し、現代アートを展開していきます。

会期：2026年8月23日（日）～ 9月26日（土）

主な会場：双葉郡8町村

浪江町：

- 大堀相馬焼 陶吉郎窯 大堀工房
- 道の駅浪江「なみえの技・なりわい館」(大堀相馬焼協同組合)
- 陶芸の杜おぼり ●震災遺構 浪江町立戸小学校

双葉町

- 双葉町コミュニティセンター ●双葉町役場
- FUTAHOME ●高崎邸 (Futaba AIR)
- フタバスーパーゼロミル
- FUTATABI FUTABA FUKUSHIMA
- 八幡神社 ●双葉町産業交流センター
- 東日本大震災・原子力災害伝承館
- 福島県復興祈念公園 国営追悼・祈念施設

大熊町：

- 大熊町交流ゾーン (link 大熊)

富岡町：

- とみおかアーカイブ・ミュージアム
- 富岡町文化交流センター「学びの森」
- とみおかワイナリー ●BAUM HOUSE YONOMORI
- 大原本店旧店舗 ●「時の海-東北」プロジェクト富岡町オフィス

楡葉町：

- 楡葉町コミュニティセンター
- (楡葉町×東京大学総合研究博物館連携ミュージアム 大地とまちのタイムライン)

広野町：

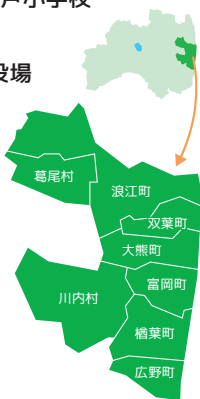
- 姥嶽蛇王神社 ●広野町役場
- 広野町文化交流施設－ひろの未来館－

葛尾村：

- 葛尾村宿泊交流館 みどりの里 せせらぎ荘 ●葛尾大尽屋敷跡公園

川内村：

- かわうち草野心平記念館
- コミュニティハウスにじいろ (地域文化伝承教室) ●長福寺
- naturadistill川内村蒸溜所 ●秋風舎
- 川内村複合まちなか拠点うまわる



Artist

吾子可苗、荒井経、伊藤有壺、伊藤礼香、井波純、岩根愛、大竹京、風早小雪、金子美晴、北村はるか、木下史青、草野心平、栗原亜也子、鴻崎正武、小松美羽、高明、近藤学（大堀相馬焼陶吉郎窯）、斎藤岩男、斎藤雅美、佐藤陽香、柴崎恭秀、柴川敏之、鈴木美樹、高村光太郎、田口苑果、千葉清藍、チーム百徳、辻まこと、長澤伸穂、永幡幸司、西田有沙、萩原朔美、平川恒太 (Futaba AIR)、平山素子、古田晃司、前川加奈、松井佐織、宮沢賢治、棟方志功、箭内道彦、山田勇男、吉田茉莉子、和合亮一、渡辺晃一、アントニー・ゴームリー、カザリス・アラン、ジャズリンダ・サイラ、ドミニク・アリアディエール、ヒュッメルリッヒ・マライケ・ゾエ、ブリジット・カーナルグエン、プレント・ウィルソン、フローネ・アヤ・カザリス、ハイデン・センター、ミュリエル・リガール、Md,タリカット、王尽遥、福島大学学生・大学院生、福島大学球体関節人形サークル、福島大学美術研究会、鯉アートのぼりプロジェクト（奈良美智、ヤノベケンジ、五味太郎、他）

8月18日（火）

■ワークショップ

伊藤有壺「国の天然記念物 モリアオガエルのキャラクター WS」

コミュニティハウス にじいろ (地域文化伝承教室) / 川内村

8月20日（木）

■ワークショップ

北村はるか「にじいろガラスペインティングWS」

コミュニティハウス にじいろ (地域文化伝承教室) / 川内村

8月22日（土） 17:00～

■レセプション

出展作家によるアーティストトーク
双葉の校歌斉唱（斎藤のどか、菅原紗那 / 福島大学 芸術表現コース）

東日本大震災・原子力災害伝承館 / 双葉町

8月22日（土）

■ワークショップ

佐藤陽香、松井佐織

とみおかアーカイブ・ミュージアム / 富岡町

8月23日（日） 10:00～

■特別フィールドワーク

「伝承館語り部（高倉伊助さん）と巡る」

東日本大震災・原子力災害伝承館 / 双葉町

8月23日（日） 13:30～

■レセプション 出展作家によるアーティストトーク

とみおかアーカイブ・ミュージアム / 富岡町

8月30日（日） 13:00～

■アニメーション上映会

伊藤有壺（東京藝術大学大学院映像研究科アニメーション専攻）

フタバスーパーゼロミル / 双葉町

8月30日（日） 17:00～

■講演会 箭内道彦

東日本大震災・原子力災害伝承館 / 双葉町

9月2日（木） 13:30～

■講演会

萩原朔美「私が出会った表現者たち・草野心平、谷川俊太郎、寺山修司」

コミュニティハウス にじいろ (地域文化伝承教室) / 川内村

9月5日（土） 10:00～

■シンポジウム「アート&サイエンス 悠久の大地と海」

第一部 講演「福島から未来を語る」

伊藤美生（青山学院横浜英和高等学校） / 塩澤紘明（福島大学大学院）

第二部 シンポジウム「生命と地球の∞」

コーディネータ：渡邊晃一（福島大学 芸術による地域創造研究所）

パネリスト：佐藤たまき（神奈川大学 理学部理学科）

鈴木直（フタバスズキリュウの発見者）

佐々木猛智（東京大学 総合研究博物館）

鈴木道生（東京大学大学院 農学生命科学研究科）

豊福高志（国立研究開発法人海洋研究開発機構）

9月6日（日） 11:00～

■ワークショップ

チーム百徳「葛尾村の百徳ワークショップ2026」

葛尾村宿泊交流館 みどりの里 せせらぎ荘 / 葛尾村

※イベントの日時や場所は、主催者の都合により予告なく変更になる場合がございます。
最新情報を公式ホームページでご確認の上ご来場ください。

関連企画

「September JAM」 9.21（月・祝）

「風とロック芋煮会」と「オハラ☆ブレイク」がタッグを組み、多彩なアートの催しが猪苗代町で繰り広げられます。https://www.septemberjam.com

はじまりの美術館「奈良美智ライブドローイング展」9.21（月・祝）-11.3（火・祝）